

平成最後の初挑戦！「#天空の地上絵@交野ヶ原」

目指せ！インスタ映え

2016年の本プロジェクト発足以来、交野ヶ原の魅力を発信するために、2回の主催イベントや枚方まつりでのブース出店などでお世話になってきた岡東中央公園。今回のイベントでは、奇しくも「平成最後」まで、「岡東中央公園」で開催する、プロジェクト最後のイベントとなりました。

今年も、天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトで「春のイベント」をしようというところから始まり、「花見」や「写真コンテスト」などさまざまなアイデアが出ました。若者たちに興味を持つてもらうにはどうすればいいかを考えると、「インスタ映え」だろうということで、青年部の若者たちにメインで企画を考えてもらい、岡東中央公園のライトアップ企画が決まりました。イベント名には、インスタで検索のきっかけとなる「#(ハッシュタグ)」を取り入れました。

かくして、「天空の地上絵」の中の夏の大三角の三か所と、北極星の計4か所の星の位置に「スタードーム」を設置する段取りが整いました。「スタードーム」にはそれぞれのドームのコンセプトを設定しました。岡東中央公園のライトアップ企画の実現のため、枚方市のご協力のもと、プロジェクト初となる、岡東中央公園の夜間使用をさせていただけたことになりました。どうやって公園をライトアップしていくのか、予算のない中、資金をかけずに最大限の効果を出すべく、試行錯誤を繰り返しながら、さまざまなアイデアを出しました。

岡東公園に「天空の地上絵」を再現

プロジェクトメンバーの山口さんが主宰する「プレー・パークこうりがおか」の山の竹藪から切り取らせていただきました。

岡東公園を横断する輝く「天の川」

会議を重ね、イベントのコンセプトとして、「インスタ映え・「天空の地上絵」を岡東中央公園に再現・都市公園で「ディキャンプ」に決定。主要な星を表現するために、プロジェクトとしては初となる、竹で作った「スター」「ドーム」製作に挑戦しました。「スタートドーム」とは、竹を編んで作る直径6メートル、高さ3メートルになるドームで、材料となる竹は、プロ

3月24日当日は、18時からライトアップを開始しました。実行委員メンバーで、公園内に設置した「LEDキャンドル」のスイッチを入れていき、明かりが徐々に点灯。19時頃には、無事に「天の川」が浮かび上がりました。工夫の賜物か、遠目から見ても、はつきりと川の形に光っていました。最終的に、岡東中央公園に「天空の地上絵」を再現することに成功しました！

